

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月26日

【評価実施概要】

事業所番号	3271800520		
法人名	有限会社プラスロックアソシエイツ		
事業所名	グループホーム 「あさぎりの家」		
所在地	島根県邑智郡川本町川本1 1 7 9 - 2 (電話) 0 8 5 5 - 7 2 - 3 2 2 2		
評価機関名	NPOしまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町4 3 番地		
訪問調査日	平成21年1月21日	評価確定日	平成21年2月26日

【情報提供票より】 (平成21年1月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤9人, 非常勤3人, 常勤換算10, 7人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	コンクリート屋根
	3階建ての	2~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	0 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(1月5日現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名	
要介護1	2名	要介護2	3名			
要介護3	2名	要介護4	1名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	87歳	最低	75歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	仁寿診療所 加藤病院 原田歯科医院 槇平歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民間企業の寮を改装して造られ2階・3階が居住部分になっているホームである。職員数が多く、夜間は準夜、深夜勤務を組むなど柔軟に対応し利用者の安全な生活を支援している。短期利用の受け入れを行い他の地域からの問い合わせもあった。外出の機会を増やすために毎月目標を立て買い物やドライブに出かけている。管理者、職員は、記録の仕方や地域の人との交流の仕方など常に前向きに考え話し合いながら改善に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 「地域とのつきあい」「外出支援」「介護計画の見直し」などが課題であったが、改善計画シートを作成し目標に沿ってできるところから改善している。事業所の多機能性を活かし短期利用も行われるようになった。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 管理者が書き込んだものをもとに職員全員で話し合い評価を行った。課題は全職員で共有し改善計画シートを作成して改善に取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 活動報告や研修、ヒヤリハット報告などを行い意見交換を行っている。出席者から地域ケア会議への参加の提案があり参加するようになった。環境整備にも意見が出され検討されている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 来訪時に意見を聞いたり、ホーム便りや管理者からの毎月の手紙で生活の様子を伝えている。家族からは心配事や利用者から聞いたことが話されている。行事や交流会などを通し家族同士が意見交換する機会がない。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し総会や防災訓練に参加したり、ミニデイサービスに参加するなど意識的に地域との連携に努めている。散歩時に花をもらうなど、運営推進会議を通し少しずつ地域の人との交流が広がっている。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者、職員全員で話し合い、地域密着型としてのわかりやすい理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を常に意識するようにミーティング時に唱和したりホーム内に明示し、理念の共有に努めている。	○	契約書などの文書の見直しが行われたが、利用者の権利について明文化されることを望みたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し総会や防災訓練に参加したり、ホーム便りを回覧してもらっている。文化祭やミニデイサービスなどに参加し意識的に地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が書き込んだものをもとに全員で話し合い評価を行った。取り組みの中で気づきや課題が話され、改善計画シートに基づき改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し活動や研修、ヒヤリハット事例などを報告している。出席者から環境整備や地域ケア会議への参加などの提案があり、実行に移されている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議や地域連携推進協議会に参加し情報交換を行っている。短期利用の広報活動を行ったこともあり他の市町村からの問い合わせもあった。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時に報告したり、毎月金銭管理の報告とあわせ管理者がホームでの生活や健康状態などを報告している。年2回写真入りのホーム便りを発行し行事などの様子を伝えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時や手紙で意見の引き出しに努めている。家族からは質問や利用者が家族に話したことが伝えられ個別での対応をしている。家族同士が交流したり意見交換をする場がない。	○	家族同士の交流の場を作り、さらに家族の意見が運営に反映されることを望みたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	一人の利用者に対し二人の職員をつけ、止むを得ず離職があった時にも利用者への影響が出ないようにしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の希望を聞きながら全員が外部研修に参加できるように取り組んでいる。内容はミーティング時に報告し共有している。資格取得のために勤務調整をし支援している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は他のグループホームの管理者と情報交換や意見交換を行っている。行事などを通じ交流することはあるが地域内でのネットワークづくりはこれからである。	○	職員レベルでの相互訪問、相互研修などの機会を積極的に検討していただきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	「入所時マニュアル」があり、管理者が自宅訪問をしたり、見学をしてもらい、ホームのことをよく知ってもらってから利用を開始している。短期利用の人が入居されることもある。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から得意な野菜作りや押し寿司の作り方などを教わったり、昔の歌を一緒に歌い思いを共有しあっている。地元出身の職員が多く共通の話題で利用者と接している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	マンツーマンでの対話を大切にし、言葉や態度、表情などから利用者の思いを知り、いつもと違う時は居室で話を聞くようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を取り入れ生活歴などを家族に記入してもらっている。計画作成担当者が作成したものにさらに職員が個別援助計画を具体的にあげ計画を立てている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員は毎日利用者一人ひとりの目標に沿ったケアができたか振り返り記録し、計画作成担当者が情報を集め毎月見直しをしている。必要時には随時見直しを行っている。	○	計画作成担当者と職員が一緒に見直しをすることが考えられているので実現に期待する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	在宅の緊急ショートステイの受け入れを行ったり、在宅療養支援診療所と連携し安心できる医療支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の納得したかかりつけ医による支援を行い、週1回往診が行われている。歯科や眼科などの専門外来は家族の協力を得ている。受診結果は家族に報告し、全職員で共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した時にはかかりつけ医、訪問看護師など関係者と話し合い、利用者・家族の希望を大事にした対応をしたいと考えている。終末期をホームで、と希望している家族もある。	○	関係者と話し合いを重ねながら方針の共有をお願いしたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	ミーティング時には名前をイニシャルで呼んだり、言動を否定しないよう利用者の尊厳を傷つけない対応を心がけている。希望する人には同性介護をしている。	○	さらに日々の会話の中で禁止や指示語を使っていないか、職員全員で振り返る機会をもちサービスの質の向上に努めていただきたい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴、昼寝、買い物、散歩など、利用者のペースを尊重した支援をしている。ソファで新聞をゆっくり読む人もいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状態や力に合わせ、盛り付けや片付けなど職員と一緒にしている。職員も利用者と同じ物を一緒に食べさりげなく介助している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	温水器の湯の量の関係で一日の入浴者の人数は2～3名であるが、利用者の希望を大切にしたい支援をしている。嫌いな人には利用者同士の入浴や声かけ、対応を工夫している。	○	安心して湯が使えるような設備の改善をお願いしたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作りや畑作り、ゴミ箱折り、干し大根作り、縫い物、ぬり絵、カラオケなど、得意なことが活かせる場面がある。外出時、好きな花を買い自分で植えてもらっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	階段があり外出は利用者や職員にとって身体的、精神的に負担が大きく消極的になりがちだが、計画を立て買い物やドライブに出かけている。希望には勤務調整をに対応している。	○	努力されているので取り組みが継続されることを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自由に入出入りすることができる。入り口はセンサーが取り付けられている。職員は声をかけあいながら利用者の安全確認をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルに沿って定期的に訓練を実施し備蓄もしている。消防署への通報装置が近日中に取り付けられることになっている。2階、3階が居住部分のため特に夜間の避難には不安がある。	○	地域自治会との合同避難訓練の実現に期待したい。運営推進会議を利用し避難方法について継続した討議が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え高カロリーにならないように配慮している。利用者の状態に合わせ刻みなど食事の形態を変えている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	金魚を飼ったり花や観葉植物、ぬり絵、写真などを飾り、居心地のいい環境づくりを心がけている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の思いに合わせて写真や手芸品、好きな花や鉢植え、生活用品を持ち込みその人らしい居室になっている。自室でコーヒーを楽しむ人もいる。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。